

【大阪府域全体の発展に資する新たな戦略】

大阪全体の都市魅力をさらに強化・発展させ、国内外から人・モノ・投資等を一層呼び込んでいくため、2025年大阪・関西万博に向けた取り組みや府域周遊を促進させる施策展開など、新たな視点を盛り込んだ戦略が必要である。

その策定にあたっては、新型コロナウイルスによる観光産業等への甚大な影響を踏まえ、現行の都市魅力創造戦略で掲げる「10の都市像」を再構築し戦略的な施策推進の道筋を示し、府内市町村や経済界等の関係者が一体となり、オール大阪で都市魅力向上施策を着実に進めていけるものとしていく。

<新戦略検討にあたり踏まえるべき主な事項>

■戦略2020の達成状況・課題分析

- ・世界水準のMICE拠点の形成
- ・府域周遊の促進
- ・世界有数の国際都市をめざした受入環境の整備 など

■他計画との整合性

- ・大阪の成長戦略(～R2)
- ・文化振興計画(～R2)
- ・スポーツ推進計画(～R3) など

■新たな視点・状況の変化

- ・WMG、2025万博の開催、IRの誘致
- ・SDGs推進
- ・滞在型観光(府域周遊、ナイトエンターテイメント など)
- ・大阪の強みを活かした誘客(エンタメ、USJ、食、万博公園、文化・芸術、スポーツ など)
- ・AI、IoTの進展(スマートシティ、VR活用、MaaS、キャッシュレス など)
- ・観光に影響を与えるリスク(カントリーリスク、新型コロナを含む自然災害 など)
- ・アフターコロナに対応した都市魅力創造のあり方

